

令和5年度

赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和5年8月31日(木)

校長 高橋 励

赤羽根中 生徒の活動の記録

～中学校総合体育大会 湘南ブロック・県予選～

※8月24日号の続きです。

剣道部

7月22日(土)

男子団体:予選トーナメント

第1回戦 対 滝の沢中 勝

第2回戦 対 深沢中 勝

第3回戦 対 藤沢第一中 負

代表決定リーグ(対 鶴嶺中・鎌倉学園中)

0勝2敗

7月24日(月)

女子個人: (3年)

第2回戦進出

女子団体:予選トーナメント

第2回戦 対 明治中 勝

第3回戦 対 鶴が台中 勝

決勝リーグ(対湘洋中・寒川中) 1勝1敗

準優勝 県大会出場

→8月1日(火) 第2回戦進出

男子ソフトテニス部

7月22日(土)個人

(1年)・ (3年)ペア

(3年)・ (3年)ペア

ともに第2回戦進出(Best32)

(3年)・ (3年)ペア

第3位 県大会出場

→7月29日(土) Best32

7月24日(月)団体 優勝 県大会出場

→7月31日(月) 第2回戦進出



Dear Student(*^_^*)

『真価』を発揮するのはこれから!

今年の夏の甲子園大会では、神奈川県代表の慶應高校が、日本全国の高校野球部の代表49校の中で最後まで一度も負けずに大会を終えました。すごいことだと思います。

今日の集会で、「赤羽根中」というチーム名を背負い、種目によっては地区やブロックの代表として大会・コンクール等に出場・参加した皆さんに表彰伝達をしました。その中には「優勝」と書かれたものもありました。それぞれ、皆、素晴らしいがんばりを見せてくれました。でも、わたしは「勝ち負け」の行方だけが部活動に取り組む価値や結果だと考えるのは、少し物足りない気がするのです。

中学校の部活動って「漢方薬」みたいなものだと思うことがあります。そして、その本当の「効目」がでるのは、実は、その活動から離れたいわゆる「引退」後だったりするのではないかと、思うのです。

部活動を続ける中で、あなたはどんなことができるようになり、自分のどんな力やよさを見つけてきたのでしょうか?

部活動に一区切りをつけた3年生!あなたのこれまでのがんばりの真価が問われるのはこれから。オトナの全てが、とはいいませんが、「部活動をやってきてよかった」と語る「元中学生」は、競技成績だけではない、もっと大きな価値を感じているようにわたしには思えます。残り半年あまりの中学校生活、なりたて自分になろうとすることに挑戦し続けてほしいと願っています。

